

地すべりダムを巻き込んだ土石流：2011年宮川流域持山谷のケース  
Debris flow involving landslide dam: a case of Mochiyamadani, Miyagawa area, Mie  
Prefecture in 2011

永田 秀尚<sup>1\*</sup>  
Hidehisa Nagata<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 有限会社 風水土  
<sup>1</sup>Fu Sui Do co. ltd.

三重県宮川流域は2004年に引き続き、2011年にも台風12号による豪雨に見舞われ、どちらの豪雨によっても多数のランドスライドが引き起こされた。既存の緩速地すべりには再活動が認められたものがあるが、初生的な高速地すべりは単独で、あるいは既存のものに隣接して発生した。

支流の持山谷では2004年に発生した崩壊の拡大と、それに隣接した箇所での土砂/岩すべりが2011年に最上流で発生した。移動体は土石流となって流下し、2004年に中流部で発生した岩すべりによる地すべりダムを侵食し、その体積を増加させて宮川本川との合流点まで達した。土石流は砂防ダムと橋梁を破壊し、本川対岸の家屋が流出した。宮川は土砂によって一時的にせき上げされ、合流点より上の水位が上昇した。

キーワード: 2011年豪雨, 土石流, 地すべりダム, 宮川  
Keywords: 2011 heavy rain, debris flow, landslide dam, Miyagawa River